岩手県社会福祉事業団 機関誌

みんなの広場

※上の黒点は、題字と同じ内容を点字で表したものです。

主な内容

- 新任役員からのメッセージ …… 2
- 役員紹介、事業団の運営体制
- 県南エリアの取組み……3
- 特集　地域交流活動（やさわの園・和光学園）… 4、5
- 余暇支援企画第5弾　ニコニコ楽天ツアーPart2
- 児童施設の取組み（和光学園・みたけ学園児童デイサービス「くれよん」）…6
- シリーズ　時の足跡　～10年を振り返って～…7
- 業務改善活動入賞施設、職員提案制度入賞者
- 平成29年度第25回岩手県障がい者文化芸術祭のご案内…8
- 新採用職員紹介

第126号
平成29年9月30日
発行

みたけ学園

みたけ学園・みたけの園の夏祭りが
今年も盛大に開催されました。
「お祭りで飲むコーラは最高!!」

たばしね学園

休日に厳美渓へドライブに行きました。
「かっこう団子おいしい～!!」

地域生活支援センター ひこうせん

盛岡の田屋果樹園へ
さくらんぼ狩りに出掛けました。
「おいしそうなさくらんぼ、
自然と笑顔がこぼれるね☺」

～2017 夏のおもいで～

社会福祉法人 岩手県社会福祉事業団／ホームページ：http://www.iwate-fukushi.or.jp

新任役員からのメッセージ

「事業団に期待すること」

理事
齋藤昭彦

本年度から理事を務めさせていただいております。

昭和54年に岩手県に入庁後、36年間を福祉関係部署で勤務いたしました。県福祉事務所、振興局では生活保護や知的障がい者福祉を担当し、松山荘、好地荘、中山の園などを時々訪問する私の顔を覚えていてくれる利用者の方々が思い出されます。本庁では、やさわ学園、みたけ学園の施設改築も担当しました。

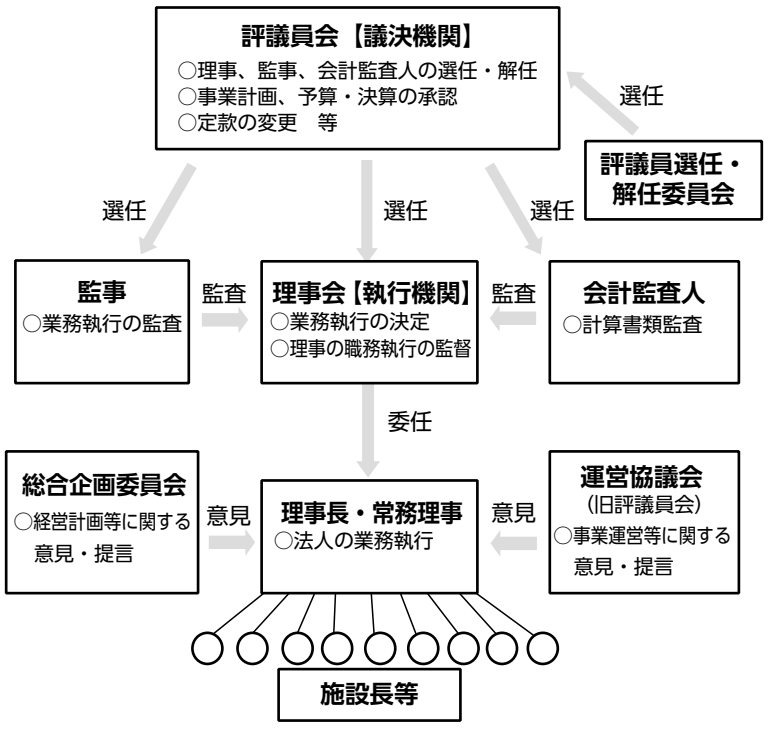
現在勤務する岩手県立大学では社会福祉法制度や自治体福祉行政に関する科目を担当しておりますが、学生への講義の中で、昭和46年の社会福祉施設緊急整備5ヵ年計画を背景とした社会福祉事業団制度の創設の目的、さらには、平成14年からの社会福祉事業団制度の見直しと、その後の県立社会福祉施設の移管などによる岩手県社会福祉事業団の実際について話をし、改めて、近年の岩手県社会福祉事業団をめぐる状況の変化の大きさを認識したところです。

一方、自治体福祉行政は、地方分権や権限移譲、新たな社会福祉法制度により市町村の役割がますます大きくなっています。

こうした中にあって、今後の岩手県社会福祉事業団には、これまでの法人施設経営で培った専門的援助技術や広域的なネットワークを生かした、さらなる「市町村との連携」と「地域への支援」を期待しております。

また、岩手県社会福祉事業団が県内の社会福祉法人施設の「範たる」存在であり続けるために、職員の皆さんが今後とも一層の研鑽を積まれることを期待いたします。

法人運営体制



役員・評議員の紹介
（平成29年9月30日現在）

理事及び監事

理事長	水野和彦
常務理事兼事務局長	朽木正彦
常務理事兼中山の園所長	鈴木豊
理事	齋藤昭彦
〃	佐々木昌志
〃	藤田泰
監事	鈴木都美子
〃	福島寛志

※役職ごと五十音順

評議員

伊藤昇	
久保田博	
千田光久	
橋本良隆	
米田ハツエ	
三上邦彦	
八重樫幸治	
吉江暢洋	

※五十音順

県南エリアの取組み

当事業団が運営する県南部の4つの施設（たばしね学園、好地荘、松風園、やさわの園）の連携強化を図る取組みが今年度からスタート。悩み、模索しながら、動き始めた様子をご紹介します。

県南エリアとは？

当事業団では、県内で16の障害者支援施設等のほか、障がい児者の通所事業所、相談支援事業所などの運営を行っています。

これまでも、各施設・事業所での情報交換や連携は行っておりましたが、障がい者の地域生活の推進が求められる中、施設・事業所の形態や種別を超えた協力、地域との連携がますます重要となっています。特にも、たばしね学園、好地荘、松風園、やさわの園は、それぞれが離れた場所にあり、一層の調整や連携が必要とされていたことから、4つの施設を当事業団の〝県南エリア〟とし、動き出すことになりました。

県南エリアにおける連携と相互作用

県南エリアでは13の施設や事業所を運営しています。

理想と現実・・・

とはいえ、何もないところからのスタートというのは、なかなか難しいもの…。まずは、障がい児・者のニーズや社会情勢などを踏まえて、課題となっていることや重点的に取り組んでいく必要があると思われることを整理しました。

現状把握として課題を整理した結果、障がい者が地域で暮らすためのグループホームの展開や障がい者雇用の推進、福祉を担う人材の確保・育成など、急ぎ取り組まなければならないことがたくさんあがってきました。そして、障がい者の方への支援は、ライフステージや複数のサービスを意識しながら行うことが重要ですが、個々の職員が、日々の業務に追われ、目の前の仕事や自分の所属所など、狭い範囲で物事を捉えてしまいがちであるため、まずはこの意識を変えることが必要だとわかりました。

いいな！のオモイを いいね‼のカタチに

整理した課題ごとに、施設の枠を超えたチームを作り、リーダーの指令をもとに、解決に向けた取組みを進めることとしました。これまで、全く関わったことのないテーマについて考えたり、同じ法人内とはいえ、顔を合わせたこともない職員との連絡のやりとりに悩んだり緊張する職員もいたようですが、忙しい通常業務の合間に気づいたことや調べたことを出し合いながら、課題解決に向けた取組みを進めております。また、やり取りをとおして、これまでにはなかった新たな気づきも生まれています。

そうはいっても、福祉職場の人手不足も深刻で、新しい動きや取組みを負担に感じる職員もおりました。そこで、「ネガティブ発想は禁止！実現できるように考えていこう」を合言葉に、若手からベテラン職員まで、個々のスキルや経験を出し合うことを確認したところです。

動き出してから数か月、未だ手探り状態が続いておりますが、少しずつ〝カタチ〟を作りながら、他の法人の方々や関係機関、地域の皆様と連携し、質の高い福祉サービスの提供に繋げていきたいと思っております。

（松風園　エリア担当主査　菅原寿美子）

施設は違えど、同じ立場だからこそできる話も。
（県南エリア係長等学習会）

目指せ、農福連携!荒れ果てた松風園の農場を耕して栽培を再開。 日中活動の充実も図ります。

特集!

地域交流活動

当事業団では、日頃から地域の方々との交流活動に積極的に取り組んでおります。それぞれの施設で多様な活動を行っている中から、今号では、2施設の活動を紹介いたします。

やさわの園
農福連携の取組み

やさわの園の職員・利用者含めた地域交流の一つとして「高松第三行政区ふるさと地域協議会」との活動があります。平成23年度から「農業」「福祉」連携の一環としてお声掛けをいただき、現在に至っています。事務局長の熊谷さんから、その活動を振り返りメッセージをいただきましたので、ご紹介します。

地域の愛情が詰まっています! 大〜きな大根!

人々がお互いを認め、認められる関係「共生型コミュニティ」をめざして

当協議会は、平成20年に過疎化、高齢化や農業収入の低下に悩む地域を足元にある資源と人材を活用して、みんなの力で活性化させようと設立されました。

平成23年度からは、「農業」「福祉」「交流」をテーマにした取組みが始まり、事業の中で「農業」と「福祉」の連携による相乗効果を目指し、地域の高齢者・障害者の方々の生きがいづくりや交流の場として高松地区に協議会が運営する「いきいき農園」を開園しました。活動の中で貴重な戦力となっているのが「やさわの園」です。

「いきいき農園」においては、我々地域の住民と利用者さんが6月の玉ネギ、10月のガマズミ、11月の大根・白菜の収穫作業を行っています。当初は施設の理解も不十分で、収穫した農産物を手にした利用者さんの笑顔やパフォーマンスに驚きを隠せませんでした。しかし、年々一言二言と言葉が交わせることにより、「交流する喜び」という収穫も行っていると感じています。

また、収穫した農産物を活用したオリジナル料理やスイーツなどの開発にはいつも驚きと新たな農産物の活用方法の可能性を感じています。

さらに、活動当初は生活介護事業所ジョバンニの利用者さんが中心でしたが、近年はやさわの園利用者、職員の参加も増え、収穫体験を行っていることにさらなる喜びを感じているところです。

活動を始めて10年、目標である所得と雇用の確保はまだまだですが、農園に響く明るい声は確実に地域に元気をもたらしてくれています。

我々がめざす、人々がお互いを認め、認められる関係「共生型コミュニティ」の構築に向けて、今後ともよろしくお願いいたします。

花巻市　高松第三行政区ふるさと地域協議会 事務局長　熊谷哲周

甘くておいしい自慢の玉ネギ♪

鮮やかな紅色が特徴のガマズミ

やさわの園 オリジナルメニュー

収穫した農産物は、やさわの園の給食にも登場。栄養士さん考案のオリジナルメニューは大人気です。自然の恵みに感謝しながら、「いただきます!」

ガマズミクリームの食パンサンド

ポリフェノールたっぷりのガマズミは健康食品としても注目されています。

白菜と豚肉のミルフィーユ

白菜の甘さが引き立つ絶品メニューです。

ずっしり重い白菜! 収穫の喜びにこの笑顔!

和光学園
警察学校との交流

6月28日（水）、和光学園に隣接する岩手県警察学校とのソフトボール交流会が和光学園グラウンドで開催されました。日頃から、警察学校の皆さんには、町内会の夏祭りや総合防災訓練等にご協力をいただいております。その中でも、毎年開催されているソフトボール交流会は、学園児童がとても心待ちにしている行事です。

ホームランを打つぞ〜!

当日は副校長先生他、初任科生徒17名の皆さんが参加されました。和光学園は小学生中心のチームで、日々厳しい訓練に励んでいる警察学校の皆さんとは体格が一回りも二回りも違いましたが、それでも試合は、最終回の表まで5対3で和光学園リードの展開。最終回ウラに同点に追いつかれ引き分けのままゲームセットとなりました。最後までお互い一歩も引かない接戦となり、大変盛り上がりました。

試合後、警察学校の皆さんとすっかり打ち解けた学園児童からは、「走る競争がしたい」「ドッジボールがしたい」等様々な要望が出され、時間を過ぎても熱い気持ちは冷めない様子でした。次回は、秋にドッジボールで交流（勝負?）する予定です。

かけっこで勝負! 大人には負けないぞ!

今後もこうした交流活動を通じ、地域の方々に学園のことを理解していただき、より連携を深めていきたいと考えております。

余暇支援企画　第5弾
ニコニコ楽天ツアー Part2

7月27日（木）〜28日（金）の1泊2日で「ニコニコ楽天ツアー」を開催しました。

グループホームの利用者さんからの「普段と違った活動に参加し、楽しく充実した余暇を過ごしたい」という声を受け、一昨年度から始まったこの企画。第5弾となった今回は、昨年度、大変好評であった「ニコニコ楽天ツアー」の“part2”。利用者54人、ボランティア12人、職員13人、計79人で出掛けてきました。

1日目、「Koboスタ宮城」での野球観戦は、楽天VSソフトバンク戦。首位争いということもあり、球場は序盤から熱気に包まれ、大変盛り上がりました。球場グルメやお酒も味わい、皆さん楽しまれた様子でした。

2日目は、仙台の人気スポット「仙台うみの杜水族館」へ。イルカ＆アシカの迫力あるショーに感激！かわいらしい海の生きものたちに癒されたひと時でした。

2日間とも好天に恵まれ、思い出いっぱい笑顔いっぱい（お腹もいっぱい♡）の楽しい旅行となりました。

Kobo スタ宮城

本拠地での観戦は応援にも熱が入ります!

次回は、新幹線で行く日光の旅♨お楽しみに！！

仙台うみの杜水族館

きれいな魚がいっぱいです。

おみやげ選びも旅行の楽しみ♪

和光学園
～あめみや夢基金で新しい体験を！～

和光学園では、昨年度から公益財団法人雨宮児童福祉財団から東日本大震災被災県の児童養護施設に寄贈された「あめみや夢基金」を利用し、旅行や習い事を実施しています。昨年度は「あめみや旅行」と称し、東京ディズニーランドや仙台、花巻温泉などへの旅行を実施しました。児童たちは、普段経験できない貴重な体験をし、大いに楽しむことができました。遠方への旅行を通して、「電車の乗り方がわかった」「いつもと違う体験ができた」等の感想が聞かれました。

また、習い事としては、そろばんや英会話、学習塾に通っている児童がいます。英会話スクールに通い始めた児童は、英語検定に挑戦してみたり、学習塾に通い始めた児童は、学校の授業でも積極的に挙手できるようになったりと前向きな変化が見られています。

旅行や習い事は今年度も継続され、今年度の旅行は、小中高校生は大阪方面、幼児は青森方面を予定しています。昨年度とは異なる地での体験が、新たな発見や興味につながることを期待しています。

「エイが泳いでるね!」「あれは何?」
仙台うみの杜水族館では、たくさんの発見がありました。

笑顔でピース♪
ディズニーランドを満喫しました。

児童施設の取組み紹介

当事業団は、「児童」、「障がい」、「高齢」等、幅広い福祉サービスを提供しております。今回は、その中から児童施設をピックアップ。2つの施設（事業所）について、それぞれの取組みを紹介します。

みたけ学園
児童デイサービスセンター「くれよん」～大人気!!おやつ作り～

みたけ学園児童デイサービスセンター「くれよん」では、毎月、様々な活動を行っています。創作活動や買物学習、読み聞かせなど、楽しんで自主的に参加できる活動をたくさん用意しています。また、スヌーズレン室や静養室など、個々の特性に合わせて、落ち着いてゆったりと過ごせるような空間を備えています。

活動の中では、おやつ作りが大人気で月に5回実施しています。6月には、利用者さんが大好きなピザトーストを作りました。上級生になると説明をしっかり聞き、包丁でパンを切るのも上達してきています。取扱いに注意して、しっかり切ることができています。自分たちで工夫しながら、パンにお好みの材料を盛り付け、作る楽しさを体験していました。

今回は、ホットプレートで蒸し焼きにしてみました。ガラスの蓋越しに見えるトーストのチーズが溶けて焼きあがる様子をワクワクしながら見て大喜びでした。椅子に座って、順番を待つこともできていました。自分たちで、作ったトーストは一段とおいしいのでしょうね!モリモリと残さず食べていました。今後も、ご家庭でもできるような作りやすい内容を取り入れた活動を提供していきます。

ピザができるまで…♪

包丁も上手に
使えるようになってきたよ!

チーズをたっぷり
振り掛けて･･･

完成!!

自分たちで作った
おやつは最高～!!

〈シリーズ〉

時の足跡

～10年を振り返って～

早いもので採用から10年、非常勤時代も含めると13年が経ちました。卒業後すぐには就職せず、米国ボストンに留学。途中南米に渡り、ブラジルのサッカーチームでプレーする傍ら、各国の福祉と貧困の現実に向き合う日々を過ごしました。その経験から帰国後は公的機関の福祉部門等での勤務を経て、中山の園に入りました。そこは学生時代、実習を通して利用者と関わって働く楽しさを教えてくれた場所であり、いつか働きたかった場所でもありました。

当時、肩ほどあるソフトアフロヘアの私をよく採用してくれたと思います。

その後本採用を経て、今までいろいろなことがありましたが、頭に浮かんでくるのは楽しい思い出ばかり。利用者さんのたくさんの笑顔と懐かしいエピソード、そして上司、同僚と共に業務に励んだ日々。事業団に入って本当によかったと、振り返ってしみじみ思います。

この10年、福祉の著しい変化を常に肌で感じながら働いてきました。当時ほぼ必要のなかった語学スキルも、今では国際化によって、その需要と機会も徐々に増えてきています。そういった変化に対応しながらも「利用者ファースト」の気持ちを常に忘れず、これからも日々の業務に励んでいこうと思います。

療育センター　児童指導員

田中　宏行

機関紙の原稿依頼をいただき、数えてみると確かに10年目…。体の締りはさらになくなり、体重と白髪だけが順調に増えているのは現実である、ということに気付かされました。平成20年４月に採用されてから今日まで、恐ろしいほどのスピードで時間が過ぎているように感じます。採用間もない頃、先輩方から毎日のように「常に利用者の立場に立って考えること！」「利用者本位が基本！」と、気合とともに注入されていたことがついこの間のことのようです。今では、「利用者本位が基本！」というのが自分の仕事のベースになっています。

改めて振り返ると、仕事がうまくいかず、悩んでいることが多かったように思います。悩んだ時には、基本（利用者本位）に立ち返ったり、悩みを周りに発信して周りを巻き込むことで、解決への糸口がつかめることがありました。悩みが尽きない仕事ですが、仲間と一緒に悩みを喜びに変えていくところが、この仕事の醍醐味であると感じています。

まだまだ10年の足跡。これからもたくさんの苦労があると思いますが、それらが喜びに変わると確信して、仲間とともに笑顔で歩んでいきたいと思います。ともに頑張りましょう！

事務局　主事

山崎　竜史

平成28年度業務改善活動入賞施設

最優秀賞
○松風園
「地域移行ってなあに？
～自分たちの将来を考えてみよう～」

優秀賞
○視聴覚障がい者情報センター
「お客様をお待たせしません」
○療育センター育成部つくしんぼ
「〝誰でも同じ支援〟を目指して」

優良賞
○療育センター障がい者支援部
「職員会議の持ち方にひと手間加えて
～限られた時間を有効に活用するためには～」
○みたけ学園
「新採用職員が初日から使える手順書を作ろう」

奨励賞
○中山の園　岩手・八幡平エリア担当部
「地域生活を長く続けたい希望を叶えるために」
○たばしね学園
「伝え、伝わる視覚支援をめざして」

平成28年度職員提案制度入賞者

（※所属は平成28年度）

金賞
○田中　康貴（りんどう）
「外倉庫内を整理整頓し、
ＢＣＰの備蓄できる場所を確保する」

銀賞
○清野　博（和光学園）
「児童の食育」
○峯川　和（たばしね学園）
「日中一時、短期入所利用記録様式の見直しについて」

銅賞
○高橋　康紀（こぶし）
「利用者の表彰」
○小田嶋玲子（視聴覚障がい者情報センター）
「視覚部門パソコンアップデート等
チェック表の改訂について」

発行／社会福祉法人岩手県社会福祉事業団　〒020-0114　盛岡市高松三丁目7-33
電話　019-662-6851　FAX　019-662-8044
URL　http://www.iwate-fukushi.or.jp　E-mail　fukushisj@iwate-fukushi.or.jp

平成29年度第25回岩手県障がい者文化芸術祭のご案内

今年度、当事業団は岩手県から委託を受け第 25 回岩手県障がい者文化芸術祭を開催します。障がいのある方々が日頃取り組む文化、芸術活動の成果を広く紹介・発表・展示し、障がい者文化芸術を盛り上げていきます。

芸術祭作品展

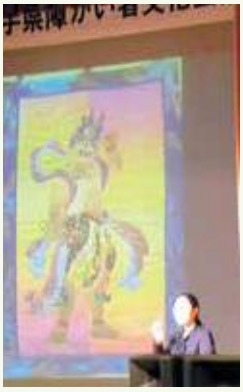
県内で活動する障がいのある方の作品を募集します。募集部門は絵画、書道、工芸、写真、文芸の５部門です。振るってご応募ください。

応募期間：平成29年9月下旬～平成29年11月9日(木)
※詳しくは岩手県社会福祉事業団ＨＰ、応募要項をご確認ください。
展示期間：平成29年11月16日(木)～平成29年12月3日(日)
展示会場：ふれあいランド岩手　エントランスホール
開館時間：9：00～21：00（休館日：水曜日）

記念式典

芸術祭のオープニングイベント。入賞作品の表彰式とオープニングアクトとして音楽ステージを開催。

開催日：平成29年11月25日(土)　13：00～15：00
会　場：ふれあいランド岩手　ふれあいホール
ゲスト：岩手大学くらむぼんジャズオーケストラ



ふれあい音楽祭

楽器演奏、バンド、合唱、ダンス、などなどジャンルを問わず、出演者・出演団体を募集します。ゲストステージにはシンガーソングライター松本哲也さんも登場。

応募期間：平成29年9月下旬～平成29年11月9日(木)
※詳しくは岩手県社会福祉事業団ＨＰ、応募要項をご確認ください。
開 催 日：平成29年12月２日(土)　10：30～16：00
会　　場：ふれあいランド岩手　体育館
出演団体：15団体程度
ゲ ス ト：松本哲也

（※写真は昨年度の様子）

平成29年度 新採用職員紹介

5月1日採用（総合職）

療育センター
理学療法士
白田 奈菜（しらた なな）
たくさんの笑顔で頑張ります。

7月1日採用（総合職）

療育センター
看護師
坂上 寛子（さかがみ ひろこ）
新しい街、人のやさしさに感謝の日々です。

7月1日採用（総合職）

療育センター
看護師
藤野 麻子（ふじの あさこ）
I can fly !

8月1日採用（総合職）

療育センター
看護師
八鍬 郁恵（やくわ いくえ）
笑顔で一生懸命頑張っていきたいと思います。